

高崎市地域福祉通信

第 8 号

平成20年8月8日発行

グループ討議の結果をまとめた「ワークシート」を作成しました

第8回市民会議で作成したワークシートは、座長・副座長会議で調整の後、第2回策定委員会で策定委員に報告されました。

第8回地域福祉市民会議の内容

第8回市民会議は、7月10日（木）午後6時30分から9時頃まで、市役所3階31会議室において開催され、34人の委員さんにご出席いただきました。

この会議では、第3回座長・副座長会議の報告と第2回策定委員会の日程や内容に関する説明を事務局が行い、その後、分科会ごとにグループ討議を行いました。

（当日の主な内容）

- 委員長あいさつ
- 第3回座長・副座長会議の説明
- 第2回地域福祉(活動)計画策定委員会の説明
- 取り組み方針の調整及びワークシートの作成
- 全体発表
- アドバイザーによる総括コメント



（グループ討議の様子）

第4回座長・副座長会議の内容

第4回座長・副座長会議は、7月28日（月）午後6時30分から8時30分頃まで、市役所2階21会議室において開催され、7人の座長・副座長さんが出席しました。

当日は、8月4日に開催される第2回策定委員会の内容に関する説明の後、市民会議で作成したワークシートの調整と、今後の市民会議の進め方について活発な議論が行われました。



（第4回座長・副座長会議の様子）

第2回地域福祉(活動)計画策定委員会の内容

第2回策定委員会は、8月4日（月）午後3時から、市役所2階21会議室において開催され、17人の策定委員さんにご出席いただきました。

当日は、各分科会の座長さんから市民会議で作成したワークシートの報告があった後、地域福祉(活動)計画体系案に関する意見交換を行いました。



（第2回策定委員会の様子）

次回以降の予定

次回の市民会議から、いよいよ地域福祉活動計画を中心とした議論に入ります。これまでの議論を踏まえた上で、社会福祉協議会が用意するシートに提示された内容に対して、具体的な議論を行っていただきたいと考えています。

※ 金井先生の意見（第4回座長・副座長会議で出た意見をまとめたもの）

- ① ふれあい分科会（拠点について）
地域福祉を推進する上で、どう圏域を設定し、拠点を作るべきか。
課題ごとに、どのような範囲の圏域で対応するか、拠点は社協のボランティアセンターだけでよいのか、拠点到だれを配置するか等を具体的に議論してほしい。
- ② 福祉の輪分科会（人的ネットワーク）
人的ネットワークをどう作っていくか、地域の各種団体をどう連携させていくのか等を議論してほしい（公と民の連携も含む）。住民主体の確保については比較的議論されているが、コーディネーターや後継者の確保に関する議論が足りないのではないか。
- ③ 安心・安全分科会（リスクマネジメント）
災害時に、要援護者をどう支援するのか、要援護者のマップづくりや情報共有・情報開示について、具体的に議論してほしい。
- ④ きれいな心分科会（意識改革）
当事者が、地域の一員として周囲の人と共に暮らせるための意識改革（福祉教育）をどこで行うのか、具体的に盛り込んでほしい。（例として、福祉協力校がある）

※ 大宮先生の意見（第2回策定委員会で出た意見をまとめたもの）

- ① ふれあい分科会
拠点、圏域、居場所の問題。公民館、小学校区などの単位から中学校区、旧市町村単位など、圏域の単位を考えると独自のものになるのではないか。
- ② 福祉の輪分科会
どうやって、住民を福祉の輪の中に取り入れるのか。ボランティアや公益活動を行ったことのない人を引き込む仕組みや広報等、「つながり」「ひろがり」に焦点を当てるとよいのではないか。
- ③ 安心・安全分科会
この分科会に関しては、論点が明確になっている。
- ④ きれいな心分科会
きれいな心分科会は、次世代育成が重要項目である。企業を巻き込むのもよいのではないか。育成に焦点を当てて議論していただきたい。